

C-1表

日本財団助成事業
完了報告書

平成23年11月29日

財団法人 日本セーリング連盟
会長 河野博文 殿

指導者委員会

委員長 小山 泰彦



事業名 安全指導者養成講習会
実施場所 東京都 夢の島マリーナ
実施日時 平成23年11月19日、20日
担当者名 小阪 康司 (TEL090-2338-6137)

上記事業を実施完了致しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

- 《 事業内容及び添付書類 》
- ☆ 実施報告書 (C-2表)
 - ☆ 支払明細書 (D表)
 - ☆ 講師・役員支払領収書 (E表) 交通費支出明細書
 - ☆ 臨時雇賃金領収書 (F表)
 - ☆ 講師助手謝金領収書 (G表)
 - ☆ 講師源泉所得徴収税領収書
 - ☆ 会場借用支払領収書
 - ☆ 状況写真2枚以上
 - ☆ アンケート

以上

注. 事業完了報告を連盟に提出の際は、作成したC表からG表までの全部を取りまとめ一括提出する。

日本財団助成事業
実施報告書

1. 実施要項（開催案内等・・・・助成事業の表示があるもの）
別紙のとおり

2. 参加人数

男性 47 人 女性 3 人 計 50 人
(別紙参加者名簿)

3. 事業実施状況（実施状況〈新聞記事などの報道〉や参加者の声〈感想〉）

昨年は東京都若洲公園ヨット訓練所で開催しましたが、会場を従来から実施してきた夢の島マリーナに戻しました。3月11日発生した東日本大災害において、千葉県銚子マリーナ以北は青森県まで全て津波の身の被害を受けて殆ど全滅の状況です。しかしながら、当日練習を行っていたセーラーに被害はありませんでした。

この状況を体験した東北セーリング連盟の棚橋氏、宮古のいわてマリフィールドの加藤さん、東北大学ヨット部の漆山さんに講師をお願いし、実際に体験した津波の状況を伝えていただきました。これは、今後の安全なセーリング活動の中で、津波に対する対応を全国の指導者に深く考えて頂くための参考となるとの考えからです。

今回、海上で練習中に地震に遭遇したが、海面では地震の発生が感知できずに、陸上からの繰り返しの連絡により、全員無事に非難ができた宮古商業ヨット部の例と、昨年来の度々の地震からクラブの方針として地震時の対応を部員に徹底するためにマニュアルを作成して、今回の津波時に適用できた東北大学の例を発表して頂きました。

安全なセーリング活動の為に、普段からいざと言う時の避難方法の手順を決めておく事、また携帯電話等の使用が困難になる事での通信手段の確保の必要性など、実際の体験からの有効な話を聞くことができました。大地震の発生時でも海上では船外機が不調になる程度の影響しかなく、実際の揺れを感じない事も知りました。したがって、陸上の状況が見えない場合は有効な通信手段を必ず持つことの重要性も理解できました。

これら、体験の発表を補完する意味で、専門のウエザーニュース社の地震専門家による津波の大きさや地震予報、マグニチュードの評価に仕方等の講演は非常に有効でした。特に、地震規模の評価の方法等に関する説明は、実際に地震に遭遇した時に役に立つ情報でした。海上保安庁には例年は海の安全に関する講演でしたが、今回は東日本大災害における津波の

状況をビデオを用いて解説して頂きました。TVでは見られない津波による港の被害状況などが良くわかりました。また、海上で津波に遭遇する場合、港に戻るか、沖に逃げるかの判断基準等についても説明を受けました。

今回のもう一つの講習会の目的のジュニア・ユースの育成については、育成担当の佐々木コーチが海外の例及び、日本の現状の説明をされました。ジュニア・ユースの一貫指導については、まだ始まったばかりですが、着々と成果を挙げているようです。しかしながら、海外の例と比べると、日本国内では未だ一部のセーラーに対しての育成段階で、これを発展的に拡大する必要があるとの事でした。

また、育成プログラムにおいて、使用する艇が段階的にグレードアップするわけですが、それに適した艇の選択が今後必要になる事、また艇の購入等に費用や、高校ヨット部、国体で採用している艇との調整など、問題解決には色々な障害があることがわかりました。

一貫指導に採用する艇種と、インターハイや国体の艇種の間調整について JSAF の西岡副会長から説明があり、今後委員会で検討して結論を出すとの事でした。

4.事業の効果（実施に際し、工夫した点や、予想（期待される）される効果）

未曾有の大災害に遭遇した中で、実際に津波の中で無事に避難できた方からの説明を受けて、体験からの話の重さが、今回講習会に参加した指導者の方々にも十分に感じられたと思います。特に、確実な通信手段とレスキュー艇の必要性は十分に理解できました。

実際の体験報告と、その話を裏付ける専門家（ウエザーニュース社、海上保安庁）の講演は津波や地震の内容を理解する上で、非常に役に立ったと思いました。

このような貴重な体験を得た事で、日本セーリング連盟でも記録をまとめる、また全国各地へ津波への安全対策の指針などを早急に作成する必要があるなど、今後の課題を得ました。

ジュニア・ユースの育成と強化は時間がかかることと、関係者の熱意と努力が必要な事で、今回、佐々木コーチ、西岡副会長の講演により、現在の状況及び将来のあるべき姿を参加指導者が理解できたことと思います。近年、アジアでもジュニア・ユースの育成・強化は進められ、日本も早急に体制を強化する必要があるとの事でした。この点は、参加の全国の指導者の協力なくして実行できないわけで、講習会での説明が重要な意味を持ったことと思います。

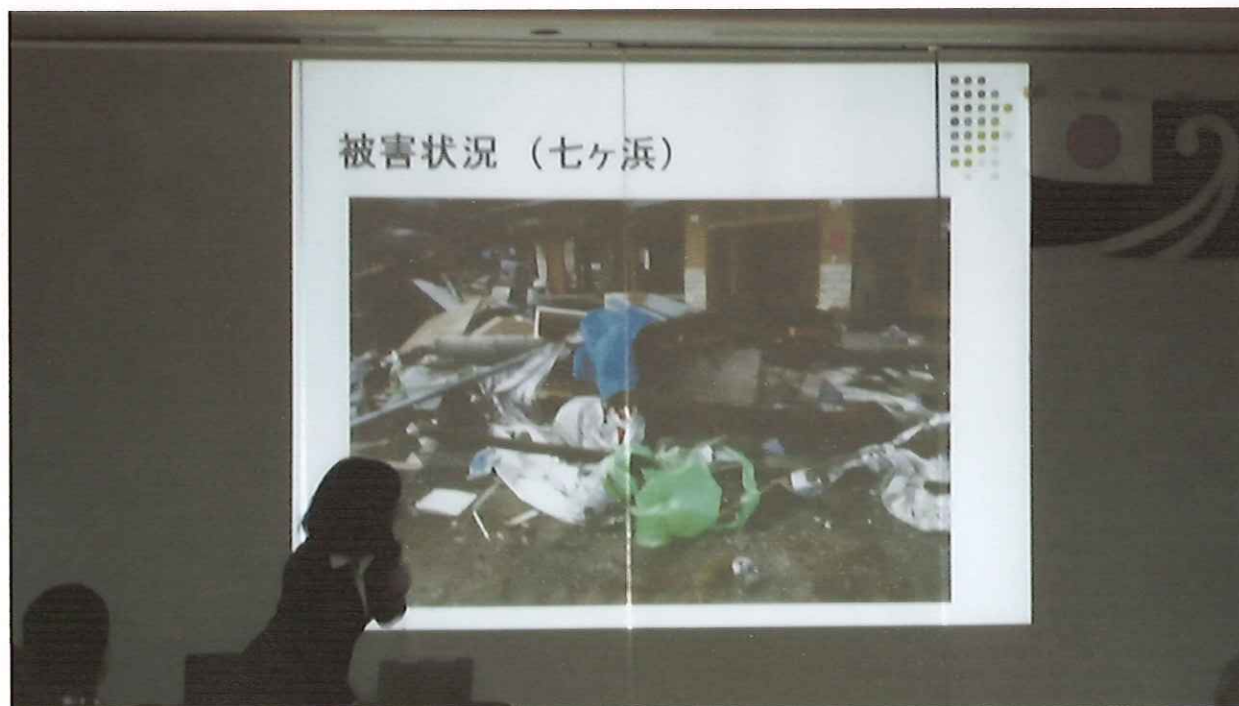
5.今後の課題（今後工夫すべき点など）

今回の講習内容は津波の被害を大きく取り上げ、其の関連事項でまとめました。一年に一回全国の指導者を集めて行う講習会として、安全関係の知識の全国への普及、ジュニア・ユース育成の為の方法論などを、全国的に広げる事が大切だと考えます。

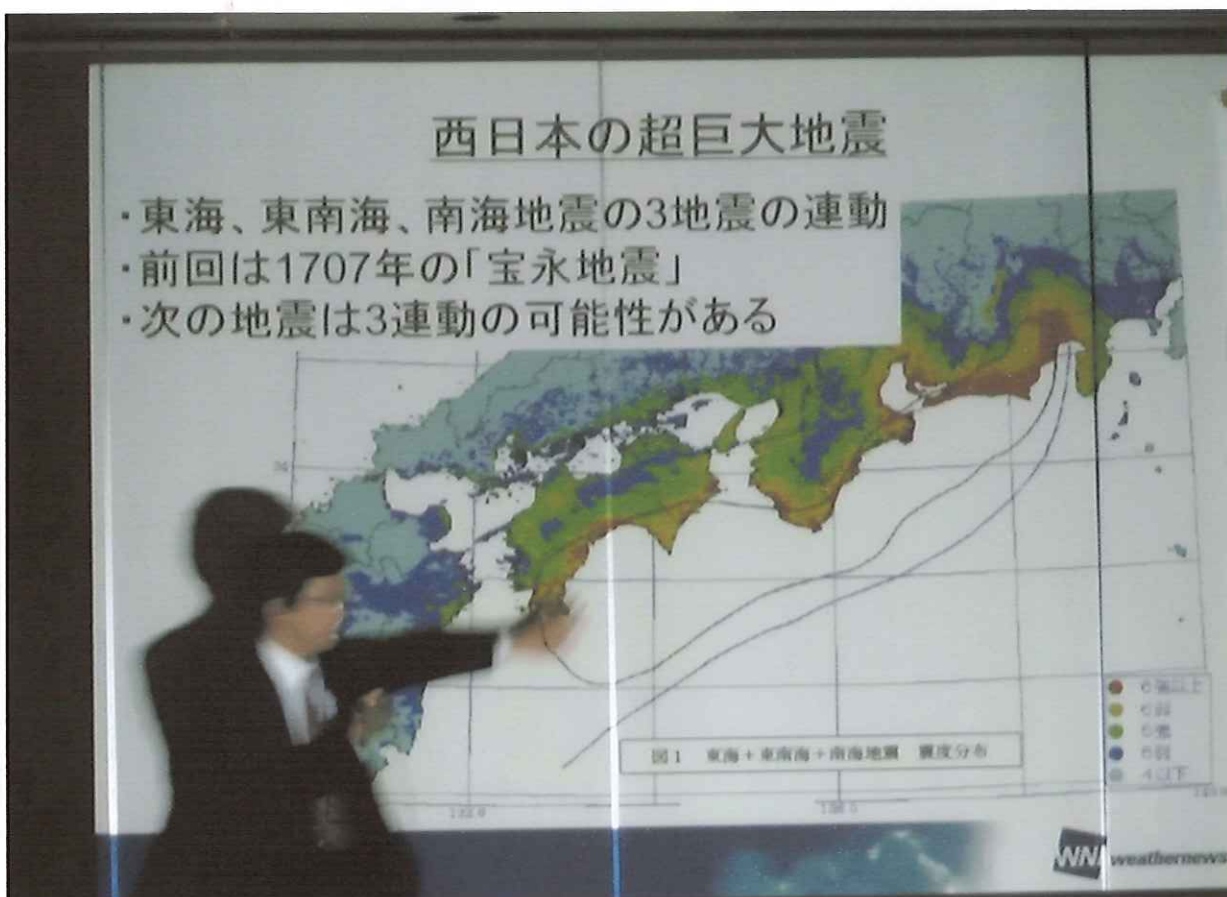
同じくオリンピックの年であり、海外から新しいニュースが入ってくる中で、育成・強化・安全に関する情報を発信する場所と機会として、本講習会の役割は大きいと考えます。



セーラーの海上儒からの避難誘導について 宮古の加藤さんの講演
地震発生時に海上で練習していた高校生セーラーをマリーナまで呼び戻し、避難させた状況の説明



津波対策のシミュレーションと実践について 東北大ヨット部 漆山さんの講演
練習海面の七ヶ浜の被害と津波時の避難方法についての説明



ウエザーニュース社の地震担当者により津波の解説（大きさや予測について）



海上保安庁による東日本大災害の説明



ジュニア・ユース強化担当の佐々木さんの講演
世界のジュニアの育成方法と日本の育成の現状の報告



JSAF 西岡副会長のジュニア・ユースの育成についての講演



日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

平成23年度全国安全指導者養成講習会

1. 会議名称:

平成23年度全国安全指導者養成講習会(略称:平成23年度全国安全講習会)

2. 主催:

(財)日本セーリング連盟指導者委員会

3. 開催日:

平成23年11月19日(土)午後1時 ~ 20日(日)正午まで

4. 開催場所:

東京夢の島マリーナ 2階 会議室

〒136-0081 東京都江東区夢の島3番地

<http://www.yumenoshima-marina.jp/access/index.html>

TEL 03-5569-2710

*交通:首都高速 新木場インターから1分

JR京葉線または営団有楽町線 新木場駅より徒歩15分

5. プログラム: *時間、内容は、変更される場合があります。

<11月19日(土) ~1日目~>

12:30 受付

(司会 棚橋)

13:00 開会 挨拶 河野日本セーリング連盟会長

13:10 セーラーの津波に対する心構えについて

棚橋 善克

13:15 セーラーの海上からの避難誘導について

NPO 法人いわてマリンフィールド

加藤 恵

14:15 津波対策のシミュレーションと実践

東北大学ヨット部

漆山 志乃

15:15 休憩

15:30 津波の大きさ・範囲の予報について

ウェザーニューズ社

興梠 裕一

16:45 東日本大震災について

海上保安庁東京海上保安部

萩尾 努 係長

(司会 川北)

18:20 ~ 20:00 懇親会

<11月20日(日) ~2日目~>

(司会 小山)

- 9:00 ご挨拶 西岡日本セーリング連盟副会長
9:10 ジュニアユースの育成について/JSAF の考え方と展望
西岡日本セーリング連盟副会長
9:40 ジュニアユースの育成について/取り組みと現状
佐々木共之ジュニア・ユース育成強化委員長
10:30 休憩
10:45 バッジテストについて 小坂委員
11:15 スポーツ指導員制度について 斎藤副委員長
11:45 委員会報告 小山委員長
11:55 閉会の辞 前田専務理事

6. 参加費用

- 1) 資料代 : ¥1,000- (参加者全員)
- 2) 懇親会費 : ¥4,000- (マリーンセンター2階・レストラン)

7. 宿泊場所:

ヴィラフォンテーヌ東京八丁堀
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-3-3
TEL: 03-5651-6660 <http://www.hvf.jp/hacchobori/>
※宿泊費 : 8,300 円(1泊朝食つき、シングル)
チェックイン 15:00 / チェックアウト 11:00

8. 持参品:

筆記用具、公認指導者証

9. お申込み・お問い合わせ:

準備の都合上 10月30日(日)までに出席ならびに宿泊の有無を別紙参加申込書によりお知らせください。

(財)日本セーリング連盟 担当:石津 基行

住所 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内

TEL 03-3481-2357

FAX 03-3481-0414

E-mail ishizu@jsaf.or.jp

10. その他注意事項

本講習会は(財)日本体育協会公認指導員の資格更新にかかわる義務研修となっております。申込書には、「公認指導員登録番号」を必ずご記入いただきますようお願いいたします。なお、資格更新のためには、更新までの4年間のうちに1回以上のJSAFあるいは各都道府県のセーリング連盟の開催する義務研修を受講する必要があります。各都道府県のセーリング連盟の開催する義務研修につきましては、ご所属のセーリング連盟にお問い合わせください。

平成23年10月 指導者委員会委員長 小山 泰彦

<ヴィラフォンテーヌ東京八丁堀 アクセス>

Access 交通案内

ホテルヴィラフォンテーヌ
東京八丁堀
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-3-3
TEL: 03-5651-6660
FAX: 03-5651-6777
客室総数 115室
チェックイン 15:00
チェックアウト 11:00



電車でのアクセス方法

「八丁堀駅」
日比谷線 A5出口より3分
JR京葉線 B1出口より5分
「茅場町駅」
東西線 2番出口より3分
日比谷線 2番出口より3分
「宝町駅」
浅草線 A2出口より10分



駐車場

駐車場有(有料・要予約)



この会議は、競艇の交付金による
日本財団の助成金を受けて実施します

全国安全指導者養成講習会@2011.11.19～20

今回の講習会に、ご参加くださり、ありがとうございます。

今後、より良い講習会作りを目指すために、皆様にご協力いただきたく存じます。

◆今回の講習会について、印象に残ったことや面白かったことなどがございましたら、お聴かせください。

◆今回の講習の内容について、のご質問、ご意見、ご要望がありましたら、お聴かせください。

◆今回の講習は安全と普及がテーマですが、講習に対するアイデアなどありましたらお聴かせください。

ご協力、ありがとうございました。

平成 23 年度 全国安全指導者養成講習会の開催に関するアンケート結果

講習会実施時にアンケート調査を致しました。

提出された意見をまとめました

1. 今回の講習内に関して印象に残ったこと等

- 東北の震災時の現場の対応について、体験者の報告を聞いたこと。
- 宮古と仙台の例を聞いて、実際は危機一髪であったことを理解した。
- ハーバーやマリナーを管理している方の努力で多くにセーラーが無事であった事を知りました
- 地震の揺れは海上では体感できない事を知りました。
- 被災の状況や、津波対策を事前に検討していた例など、非常に参考になりました。自分達の海域でも今後検討していきたいと思いました。
- 津波の事例、ジュニアセーラーの育成と内容の濃い講習会でした。

2. 今回の講習の内容について、質問、意見等

- 東北大学ヨット部で津波対応マニュアルがあるとのことですが、詳細を知りたい。
- 大津波警報時の海上にいた場合の避難方法について、基本的な考え方は話されましたが、もう少し具体的な方針、地域における対応などがあれば、教えて欲しい。
- JSAF で今回のマリン施設やセーラーの津波災害をまとめて、記録に残す事と、今後の指針のようなものを作成して欲しい。
- ジュニアの育成と使用する艇の組み合わせについて、詳細な説明を受けたい。
- ジュニア育成の為に、全国的な組織をつくる、また育成拠点を決める等の方針を聞いたかった。

3. 今回安全と普及がテーマですが、今後の講習に関するアイデア等

- ジュニア育成のプログラムと採用する艇に関する講習をお願いしたい。
- 津波に対するセーラーへの指針など。
- セーリングスポーツだけでなく、マリンスポーツ全体の海での安全のテーマ。
- 今回も世界でのジュニア・ユース育成の話ができましたが、ジュニアに対する海外に指導方法など。